

レジメン名：オニバイド+フルオロウラシル+レボホリナート療法（並列）

がん種：膵がん

1 コースの期間：14日

No.	薬品名	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日			備考
					1	～	14	
1	パロノセトロン デキサメタゾン ブチルスコポラミン	0.75 mg 6.6 mg 20 mg	点滴静注	15分	○			催吐リスクが高い患者の場合は ホスアプレピタントの併用を考慮
2	オニバイド 5%ブドウ糖液	70 mg/m <sup>2</sup> 500 mL	点滴静注	90分	○			No.3と同時に投与
3	レボホリナート 5%ブドウ糖液	200 mg/m <sup>2</sup> 250 mL	点滴静注	2時間	○			No.2と同時に投与
4	生理食塩液	50 mL	急速静注	5分	○			
5	フルオロウラシル 生理食塩液	2400 mg/m <sup>2</sup> 合計100 mL*	持続静注	46時間	○			*フルオロウラシルと合計して100 mLで投与

メモ：

◎No.5はインフューザーポンプを使用

◎UGT1A1\*6若しくは\*28のホモ接合、又はUGT1A1\*6及び\*28のヘテロ接合体を有する患者では、オニバイドの開始用量を50 mg/m<sup>2</sup>とする

- オニバイド開始用量：70 mg/m<sup>2</sup>→50 mg/m<sup>2</sup>（1段階減量）→43 mg/m<sup>2</sup>（2段階減量）
- オニバイド開始用量：50 mg/m<sup>2</sup>→43 mg/m<sup>2</sup>（1段階減量）→35 mg/m<sup>2</sup>（2段階減量）
- フルオロウラシル：2400 mg/m<sup>2</sup>→1800 mg/m<sup>2</sup>（1段階減量）→1350 mg/m<sup>2</sup>（2段階減量）

更新日：2024年4月